

のろいからの解放 パート2

最初のセッションで、人々の人生に作用するのろいの一般的なものについて、また、その原因のいくつかを見てきました。すべての呪いの主な原因は、神の声を聞かず、神が言われることを行なわないことです。神の声を聞かず、神の言われることを行なわない罪となりうる多くの特定の道があります。私たちは、不従順や神に喜ばれない行ない様々な形により、神ご自身から宣告される様々な呪いを見てきました。すべての呪いの最も大きな原因は、偽りの神々、偶像礼拝とオカルトであることを見てきました。そして、その他の、神が呪いを宣告される特定のものをいくつか見てきました。

では、ほかの呪いのもととなるものを6つほど取り扱いましょう。呪いからどのように解放されるかという、一番の焦点にたどり着くように、時間を考えながらお話ししようと思います。私の経験では、多くの場合、呪いが最初にどこから来ているのかを理解するまで、人々は自分が自由にされる必要がわからないのです。

のろいの元となるもう一つの特定のものは、神の代弁者として神のために話す人です。聖書にはこの例が多くあります。そのうちの少しだけを見ていきましょう。最初に、ヨシュア6:26にある、イスラエルがエリコを占領し、破壊したあとのことです。ヨシュアは、神の民の指導者であり、神の代弁者で、のちにその場所に町を再建する者にのろいを宣言しました。ヨシュア6:26です。

「ヨシュアは、そのとき、誓って言った。『この町エリコの再建を企てる者は、主の前にのろわれよ。その礎を据える者は長子を失い、その門を建てる者は末の子を失う。』」

これは、非常に特別な呪いで、一般的なのろいとは違うものです。こののろいの形は、エリコを再建する者は、その人の息子2人の命に値するというものです。ほとんどのイスラエル人はこののろいを忘れ、歴史の中に埋めてしまったと、私は思います。しかし、およそ500年後、イスラエルのアハブ王の時代に、一人の人が、ヨシュアが宣告した呪いを行なったのです。それは、I列王記16章に記録されています。I列王記16:34です。

「彼の時代に、ベテル人ヒエルがエリコを再建した。彼は、その礎を据えるとき、長子アビラムを失い、門を建てる時、末の子セグブを失った。ヌンの子ヨシュアを通して語られた主のことばのとおりであった。」

別訳は、「彼の息子の命という犠牲を払った」と言っています。大部分の現代の翻訳はそのようになっています。ですから、500年前ヨシュアによって宣告された呪いに反した男は、その代価として2つの息子を失いました。

その2人の息子の死因を尋ねられた時、医者はどうしただろうと、私はよく考えます。500年前に神のしもべによって宣告された言葉によるものだとして理解できたでしょうか。この事件から明らかかなことの一つは、呪いは基本的に何らかが行なわれて、断ち切られるまで継続するということです。その呪いは居座り続けるのです。

そして、もう一つの注目すべき例がIIサムエル1章で、サウル王とその息子ヨナタンがギルボア山でペリシテ人に殺された後、ダビデがそれを悼んで言ったことばです。IIサムエル1:21ですが、ダビデの悲痛な悲しみの原因を理

解する必要があります。単に、ヨナタンがダビデの親友であっただけではなく、またサウルが殺されたからでもありません。それは、真の神の民に偶像礼拝者が勝利したからでした。ペリシテ人は偶像礼拝者であったので、彼らがサウルとヨナタンの死体を見つけたとき、ペリシテ人はそれを切り裂き、頭を切断し、ベテ・シャンの城壁にさらし、偶像の宮でそれを宣言しました。当時 2 つの国(民族)が戦うとき、一般的にただ、国(民族)が戦うだけでなく、彼らの神々が互いに戦っていたことを私たちは理解しなければなりません。そして、一つの国(民族)が勝利したとき、それはその国(民族)の神の勝利でした。ですから、ダビデがそれほど嘆いていたのでは、主のしもべとして、ある意味、偶像の神々が真の神々に勝利したということだったのです。ですから、ダビデはその嘆きを口にしました。ダビデはそれを口にせずにはいられなかったのでしょうか。それはギルボア山についての異常な嘆きでした。なぜなら、そこでサウルとヨナタンが殺されたからです。

「ギルボアの山々よ。お前たちの上に、露は降りるな。雨も降るな。いけにえがささげられた野の上にも。そこでは勇士たちの盾は汚され、サウルの盾に油も塗られなかった。」

ダビデは、いけにえがささげられた野の上にも、露も雨も降らないようにと言いました。その言葉は 3000 年前に語られました。そして今世紀、ユダヤ人が自分たちの国に帰還した後、彼らはあらゆる地域に木々を植え、再び耕し始めました。そして、木々は山々で驚くほど育ちました。しかし、彼らがギルボア山に行ってみると、そこには木々が育つには、まったく予想外の問題があったのです。ですから、ダビデが 3000 年前に宣告した言葉が、今もなおギルボア山の状況に影響を与えているのです。

そして、Ⅱ列王記 5 章にもう一つの例があります。預言者エリシャは、アッシリア人のナアマンに癒しをもたらすために神に用いられました。ナアマンが癒しをお金で払うことができると考えてほしくなかったため、エリシャはナアマンからのいかなる贈り物も断りました。しかし、エリシャのしもべゲハジは、その贈り物を断ることは恥だと思い、ナアマンのあとを追って、エリシャに黙って銀と着物を求めました。戻って来てそれを隠し、エリシャが知らないと思ってエリシャの前に立ったとき、エリシャは彼に言いました。「あの人のあとを追って行ったとき、私の霊もあなたと一緒に行ったのではないか。」そして、エリシャはゲハジの上にこのような呪いを宣告しました。「ナアマンのらい病(ツアラアト)は、いつまでもあなたとあなたの子孫にまといつく。」そして、みことばは、ゲハジは病状が進行したらい病で雪のように白くなって、エリシャの前から出て行ったと言っています。そして、その呪いは、永久に彼の子孫に受け継がれました。

これらの霊からわかることは、呪いを断ち切るために何をするかを知るまで、呪いの連鎖があるということです。あなたは、神のしもべが今日そのように呪うことができるのだろうかと思うでしょう。新約聖書で、イエスがいちじくの木を呪ったことを覚えているでしょう。翌日、たった 24 時間の間にその木は根元から枯れてしまいました。そして、弟子たちが驚いていたとき、イエスは弟子たちに言われました。「あなたがたは、私がこのいちじくの木にしたこと以上のことができます。あなたは山を動かすこともできるのです。今は山を動かすことはしばらく置いておきましょう。イエスは、「私がいちじくの木にしたことをあなたにもできる。」と言われました。

私は、これをおののきと関連付けますが、それは私の個人的な経験です。1965 年に私はシカゴの都心である教会のミニストリー・チームの一員でした。教会の右隣りの角に接してパブがありました。そのパブは不道德な場所でした。お酒を売るだけでなく、ドラッグを売り、売春の場所になっていました。非常に邪悪な場所でした。10 月頃、教会

の祈り会で、私はリーダーシップの一人として講壇にいました。ある瞬間、何の準備もなく、そのパブのことが思いの中に来て、そのパブがそこに存在することは、教会に来る人々にとって、まさしく神への侮辱だと考えました。そこで、私は立ち上がって、言いました。「私はそのパブに神の呪いを宣言します。」私はそれ以上のことは考えていませんでした。およそ2か月後の朝4時に、「プリンスさん、教会が火事です。来てくれませんか。」という電話がありました。それは、気温マイナス20度のシカゴの真冬で、私は行きたくはありませんでしたが、もたもたしていると、何の関心も示さないまま教会は燃え、大変なことになるに違いありません。私は妻と車で教会に向かいました。確かに、2ブロック向こうに炎と煙が見えました。しかし、そこに着いて見ると、教会ではなく、パブが燃えていたのです。シカゴはミシガン湖に位置しています。風が湖から吹いて教会の真上に炎を吹き付けていました。どうすることもできず、私たちがそこに立って見ていると、風は180度向きを変えて、教会から炎を吹き飛ばしました。翌朝、そのパブは全焼し、教会には何の被害もありませんでした。煙による被害がありましたが、保険でカバーできました。私はそこに立って火事を見ながら考えました。「神さま、私に責任がありますか。」冗談でそう言ったものではありません。それは私が2か月前に教会で宣言した言葉の結果だと考えました。そう、自分にとつてもない力が委ねられていると気づいたのでした。私が他の人と異なっているのではなく、すべてのクリスチャンがその力を持っているのです。そして、私はこう祈りました。「神さま、私が決してその力を間違っただけに用いないように助けてください。」今お話していることが、決して過ぎ去ったものではなく、今日にも当てはまるものであるということを証明するための具体例としてお話ししているのです。

さて、ほかののろいの元に進みましょう。次は、非常に重要でありながら、現代のクリスチャンにはあまり理解されていないものです。権威に関する人物と呼びましょう。それは、人間関係のゆえに権威を持つ人物です。今日、多くの場所やことばにおいて、それはあまり喜ばしくない概念ですが、その事実はなお現実的に残っています。権威は人間によって作られたのではなく、神から起こったものです。そして、権威を持つ人々の様々な人間関係があります。あなたは好まないかもしれませんが、特定の条件下において、夫は妻に対して権威があります。両親は子供に対して権威があります。教師は生徒に対する権威があります。牧師は会衆に対する権威があります。これらはほんの一例です。

さて、権威の人間関係のゆえに、権威のある人から語られる言葉は、特別に超自然的な力があります。その言葉が祝福であれ、呪いであれ、です。そして、聖書を見ると、神の祝福に次いで、人の人生の中で最も重要な祝福となりうるのは、その人の父による祝福です。それは今日でも真理です。あなたのお父さんが健在なら、あなたの力を尽くし、お父さんからの祝福を受けるためにできる限りのことをしてほしいのです。また、あなたのお母さんにもですが、まずお父さんにです。それは大きな違いをもたらします。

私は、救われたとき、両親に対して良くない態度を持っていました。私は、「彼らは救われておらず、私は救われている。彼らは理解していないが、私は理解している。」と思っていました。神はそれについて私を戒め、もし、私が両親を敬わないなら、神の祝福は期待できないことを示してくださったことを感謝します。そして、彼らが亡くなる前に、彼らに適切な尊敬を示しました。そうでなければ、私は自分の人生で神の祝福を楽しむことはできなかったのではないかと思います。

そのことを知らず、その結末を知らずに妻を呪った夫の例を取り上げたいと思います。その物語は創世記31章にあります。その話を覚えておられるでしょうが、ヤコブはおじのラバンに仕えていました。ヤコブはラバンの2人の娘と

結婚し、かなり裕福な家族の父となり、その後主はヤコブに、メソポタミアのラバンのもとを去って、カナンの地に戻るよと命じました。ヤコブは、自分がそのことをラバンに告げると、ラバンは娘たちを連れ戻すのではないかと恐れました。そこで、ヤコブはラバンがどこかで忙しくしている間に、ひそかに出て行きました。しかし、ラバンとその親戚はヤコブのあとを追い、ギルアデ山で追いつきました、そこで直接の対面がありました。ラバンは言いました。「あなたはなぜ逃げ隠れて出て行き、私が娘たちにさよならも言わせなかったのか。」ヤコブは言いました。「あなたが彼女たちを奪い取りはしないかと恐れたのです。」「いいだろう。」とラバンは言い、「私はそれを受け入れよう。しかし、あなたはなぜ、私の家の守り神を盗んだのか。」それは、ヘブル語でテラフィムと言い、悪霊から家族を守るために家に置いてあった小さな偶像のことで、今日でも非常に一般的に行なわれています。

ヤコブは、そのテラフィムについては何も知りませんでした。実は、この上なく愛していた妻ラケルが、父の偶像を盗んだのでした。父から物を盗むべきではないので、彼女がしたことは非常によくないことでした。また、彼女自身もそのオカルトに参与しており、それは常に危険なことです。このようになりました。創世記 31:30 です。

『それはそうと、あなたは、あなたの父の家がほんとうに恋しくなって、どうしても帰って行きたくなったのであろうが、なぜ、私の神々を盗んだのか。』ヤコブはラバンに答えて言った。『あなたの娘たちをあなたが私から奪い取りはしないかと思って、恐れたからです。あなたが、あなたの神々をだれかのところで見つけたなら、その者を生かしてはおきません。』

英語の欽定訳では、「その者は生きることがないように。」と言っています。それは何ですか。呪いです。その人が生きることがないように。ヤコブは自分の最愛の妻ラケルについて言っていることを知る由もありませんでした。ラケルはその偶像を隠し続け、ラバンはそれを見つけることができませんでした。その時はそこまででした。しかし、数年後、ラケルは出産のときに亡くなりました。なぜでしょうか。自分の夫によって宣告されたのろいのゆえです。このように、それは非常に現実的です。あなたも、私も受け入れたくないことでしょうか、それは現実です。神は、人間の人生と人間関係に特定の原則を築かれたのです。

別のいくつかの例を考えてみましょう。そのほとんどは、私が実際に取り扱った状況からのものですが、その人物を特定できないように一部分変えてお話しします。夫に起こりうる別の例を考えてみましょう。その男性は企業の役員で忙しく、経済的に成功しており、精力的で、かなり冷酷です。彼は、料理のできない女性と結婚しました。彼女は母親から料理を習ったことはありませんでした。長い間彼は妻の料理に耐えていましたが、もう我慢できなくなりました。そして、彼は言いました。「お前の料理にはうんざりだ。料理が上手くなることは絶対にないだろうね。」おそらく彼は何度もそう言ったでしょう。それは何でしょうか。呪いです。彼は自分にも呪いを宣告していることに気づきませんでした。「お前の料理にはうんざりだ。」何が起こったでしょうか。彼は消化不良になりました。医者はその消化不良の治療法を見つけることはできず、死ぬまでそれに苦しみました。結婚は破局し、彼らは離婚しました。その妻は才能のある女性だったので、キッチン以外のすべての領域で成功することができました。彼女はキッチンに入るとき、体が震え始め、何もかも不安になり、冷静でいられなくなります。なぜでしょうか。夫の呪いです。彼らには 2 人とも死ぬまでその呪いが続きました。お分かりですか。

では、父を取り上げましょう。これは、おそらく最も一般的なものでしょう。3 人の息子がいました。長男はもちろん、

いつも気に入られました。三男は優秀でした。しかし、真ん中は長男でもなく、優秀でもありませんでした。真ん中、つまり次男は父の性格と似ている部分が多いのです。そして人は、私たちと同様の悪い態度を見せるとき、自分自身よりもその人のせいにすることに気づいていますか。親のみなさん、あなたの子供の一人を見てみると、おそらく、あなたに最も似ていることに気づくでしょう。あなたが見ているものは、あなた自身が自分の中の嫌いな部分です。

とにかく、父は次男に言います。「おまえは決して成功しない。いつも失敗ばかりするだろう。決してうまくできないんだ。」それは何ですか。呪いです。私は多くの40代、50代の男性を取り扱ってきましたが、彼らは今も幼少期に父親から言われた言葉に苦しんでいるのです。

また、父に一人の娘がいるとしましょう。若い女性に多いですが、彼女も15歳でニキビができました。父は毎朝娘を車で学校に連れて行くのですが、娘は毎日自分の部屋でニキビに何かを塗っています。それで遅れるのです。そして、父は怒ってある日こう言いました。「おまえのニキビは決して治らない。一生ニキビ面だよ。」15年後彼女は結婚し、母となりましたが、なおもニキビに悩まされています。のろいのゆえです。

では、母を取り上げましょう。人物は特定しませんが、私が実際に取り扱ったケースです。彼女の娘はいつも彼女を喜ばせ、彼女が願っていることをいつも行なう娘でした。いわゆる、操り、コントロールする母親でした。しかし、その娘は恋に落ち、母親の気に入らない男性と結婚しました。そして母親は言いました。「あなたは決してうまく行かないわ。いつも苦しむのよ。満ち足りることは決してないわ。」私はその相手の男性を知っています。彼は賜物のある有能な男性です。しかし、少なくとも12年の間、母親の言ったとおりに彼女は苦しみました。私が彼らにその問題の元、つまり母親が原因であるという現実を突きつけたときに、ようやく変えられたのです。現在、彼らの前には新しい人生が開けています。

教師について話しましょう。単語のスペルをちゃんと書けない生徒がいます。おそらくその生徒は難読症と言われる症状でしょう。スペルを間違えてしまいます。「おまえは馬鹿だ。努力もしない。決して成功しないだろうよ。」教師はそのようなことを言うてはいけないのですが、時に彼らは言うてしまうのです。その結果、どうなりますか。その子どもは、決して人生で成功することができないのです。

妻と私に一人の友人がいて、彼女が10代の時、先生は彼女に言いました。「あなたは薄っぺらいわね。」その生徒は現在50代後半か60代だと思えます。彼女は、その「薄っぺらい」と言われたことにずっと苦しんできたとわかりました。そして不思議なことに、その言葉に値しない人がいるとしたら、それはその女性です。彼女はとても素晴らしい女性です。しかし、その言われたことの背後に権威があり、力を持たせるのです。

通常言われるのは、悪霊の要素があるということです。非常に重要なことを一つヤコブ3章から示しましょう。ヤコブ3:14-15です。

「しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。」

言い換えると、もしあなたの態度が間違っており、あなたの反応が間違っていて発言するとき、その口から出てくるものの中には、悪魔的な要素があるでしょう。思い描いてみましょう。みなさんは、笛吹ケトルをご存知ですか。あなたがこのケトルをコンロにかけて、水がだんだん熱くなってきます。蒸気が出てくるとき、ほかに出てくるものは何ですか。そう、笛の音です。笛は呪いのようなものです。お分かりですか。蒸気が出るとき笛も鳴ります。笛が鳴るのを防ぐ方法はただ一つですが、何でしょう。沸騰前にケトルを火からおろすことです。ですから、親や教師、夫は、怒りがつのり、イライラして我慢できなくなったとき、その蒸気が出そうなケトルを火からおろさないなら、笛がその怒りを吹き出します。あなたは残酷な、きつい、冷酷で不当なことや呪いを怒りと一緒に吐き出してしまおうでしょう。それは、私たちの現代文化で起こっているのではないのでしょうか。

それから、もう一つの重要な領域に入りましょう。おそらく、最も一般的なものは、自ら課す呪いです。自分自身にのろいを宣言するのです。創世記 27 章で、イサクがエサウを祝福しようとしており、母リベカはヤコブにエサウのふりをさせて祝福を奪ったいきさつをご存知でしょう。ヤコブはいい考えだと思いましたが、恐れて、11 節でこう言っています。

「しかし、ヤコブは、その母リベカに言った。『でも、兄さんのエサウは毛深い人なのに、私のはだは、なめらかです。もしや、父上が私にさわるなら、私にからかわれたと思われるでしょう。私は祝福どころか、のろいをこの身に招くことになるでしょう。』母は彼に言った。『わが子よ。あなたののろいは私が受けます。』」

リベカは、ヤコブが受けるのろいを自分が引き受けました。それは、自分で課した呪いでした。

その章の最後の節で、リベカが自分についてとても否定的な言葉を用い始めているのがわかります。46 節でリベカはイサクにこう言っています。

「私はヘテ人の娘たちのことで、生きているのがいやになりました。もしヤコブが、この地の娘たちで、このようなヘテ人の娘たちのうちから妻をめとったなら、私は何のために生きることになるのでしょうか。」

「生きているのがいやになった。何のために生きているのか。」これは、のろいの下にある人の典型的な言い方です。決してあなたはそうに言わないでください。あなた自身について否定的な言葉を発しないでください。私は絶対にこれをする事ができないと言わないでください。私は絶対成功しない。私は役に立たない。私は失敗者だ。私はこれ以上前に進めない。そして、続けて言うのです。死ねたらいいのに。私は死んだ方がましだ。あなたが何をしているかわかっていますか。あなたは死の霊を招いているのです。死の霊は多くの招きを必要としません。

妻と私は、死の霊からの解放を必要としている人々を数え切れないほど取り扱ってきました。彼らは、死の霊を招き、自分の上にのろいを負わせたのです。そして、何百人もの人々を助けた一つの素晴らしい聖句に出会いました。詩篇 118:17 です。

「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわざを語り上げよう。」

もし、あなたが自分自身について否定的な発言をしたことがあるなら、もしあなたが自分自身に何らかの否定的なものを負わせたことがあるなら、あなたはそれを肯定的なものによって取り消す必要があります。注目すべき例として、ペテロが主を三度否定したことをご存知でしょう。のちに、イエスが復活し、ガリラヤ湖畔でペテロに個人的に語りかけました。イエスは三度、「あなたはわたしを愛しますか。」と聞きました。イエスはペテロに自分を愛するかと三度断言させました。イエスはなぜそのようにしたのでしょうか。なぜなら、ペテロはイエスが十字架にかけられる前に否定的な宣言をしたことを取り消さなければならなかったからです。お分かりですか。もし、私たちが何か否定的なことを言って、自分の上に暗い影をもたらしたなら、否定的なことを撤回し、肯定的なことと取り換える必要があります。そして、この聖句は完璧です。「私は死ぬことなく…」それは、あなたが決して死なないという意味ではなく、サタンがあなたの時の前にあなたを殺しはしないということです。「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわさを語り上げよう。」全員で一緒に言ってみましょう。まず、私のあとについて言ってください。「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわさを語り上げよう。」もう一度。「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわさを語り上げよう。」今、それを言ったことで、あなたの人生の流れが変わるかもしれません。

では、もう一つの例に行きましょう。ユダヤ人の歴史で大きな悲劇です。マタイ 27 章でイエスは、ピラトの前におり、ピラトはイエスを解放したいと思っています。マタイ 27:24-25 です。

「そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなのを見て、群衆の目の前で水を取り寄せ、手を洗って、言った。『この人の血について、私には責任がない。自分たちで始末するがよい。』すると、民衆はみな答えて言った。『その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。』」

これは何ですか。自ら課した呪いです。ユダヤ人の歴史の大きな悲劇です。その言葉により、悲劇の糸がユダヤ人の歴史に織り込まれ、20 世紀の間流れてきました。自分自身について間違ったことを言わないようにという大きな学びです。

前のセッションで、神はアブラハムを呪いから守られたと指摘しました。神は、「あなたをのろう者を、わたしはのろう。」と言われました。神がユダヤ民族を守ることができない唯一の領域は、彼ら自身からのものです。そして、それは多くの場合、私たちの人生においても当てはまります。神は、すべてから私たちを守ることができます。私たちが自分について言ったこと以外は。

では、次の一般的なのろいのもとに進みましょう。それは、私が非聖書的な契約と呼んでいるものです。出エジプト記 23:32 で、イスラエルがカナンの地から追い出すことになっていた人々に関するもので、つまり彼ら全員です。生ける神にまったく逆らって生きていた人々、偶像礼拝者です。出エジプト 23:32 でモーセは言いました。

「あなたは、彼らや、彼らの神々と契約を結んではならない。」

もし、人々が、あなたが偽りの神を持っている人々と契約をするなら、あなたは彼らの神々と契約とすることにもなるということです。これを言うことで、誰をも傷つけないと思います。私の願いは人々を助けることだからです。西洋の現代文化において、その最も一般的な例はフリーメイソンです。なぜなら、フリーメイソンに入る人は、フリーメイソン

の人々と契約を結ぶからです。フリーメイソンは、それは機密事項だと言いますが、そうではありません。1950年代に聖公会のハンナという聖職者によりイギリスで『明らかな暗闇』という本が出版され、フリーメイソンのあらゆる主な儀式と式典を説明し、30年以上経っても、その本にチャレンジするフリーメイソンの会員は一人もいません。フリーメイソンの会員になるときは、もしフリーメイソンの秘密をあばくなら、自分にのろいがあると宣言しなければなりません。そして、それはあなたの舌を引き抜かれる、あなたの右腕が切り落とされてあなたの左肩に乗せられ、あなたの遺体が海辺にさらされるというようなことを含みます。それらは自分に課す呪いです。フリーメイソンは、偶像の宗教です。それは、第32の階級、王家の階級で明らかで、ジャーブロンと呼ばれる人物を認め、礼拝します。それは、エホバとバルとオシリスを組み合わせたものです。そして聖書の真の神を、(神が完全に非難する)2つの偶像の神に加えています。あなたがその契約を結ぶとき、あなたはそれらの神々と契約を結ぶことになるのです。

私は、多くの経験に基づいてこれを話しています。すべての経験に関連付ける時間はありませんが、一つだけ分かち合しましょう。3、4年前、妻と私はオーストラリアのある教会で日曜日に奉仕しており、私たちは人々のために祈っていました。18歳ぐらいの若い女性が赤ちゃんのために祈ってもらうために、小さな赤ちゃんを抱いて前に出てきました。その赤ちゃんは、生後六日ぐらいに見えましたが、実際には、生後6週間だと彼女は言いました。私は、何が問題かと聞くと、まったく栄養を取らないのだと言いました。そして、私たちか神の力がその若い母親に臨むようにと祈ると、彼女は床に倒れました。妻は母親の腕から赤ちゃんを取って、抱きました。彼女が床に寝ているとき、神は私の妻に、その母親のために祈っている人々への知識のこぼれを授けました。彼女の父親はフリーメイソンで、その力を取り扱わなければならない。そして、その祈っている人々がその力に対抗した瞬間、その母親は悪霊の力の下で身をよじって叫び始めました。そして、彼らが祈っていると、彼女は長い悲鳴を上げて解放されました。しかし、注目すべきは、妻の腕の中の小さな赤ちゃんが同時にまったく同じ悲鳴を上げて解放されたことでした。母親が解放されただけでなく、赤ちゃんも解放されたのです。

彼女はその夜、およそ6時間後に戻ってきました。私たちが、赤ちゃんはどうかと尋ねると、朝から哺乳瓶で丸々3本飲んだと言いました。しかし、私がみなさんに理解していただきたい事実は、フリーメイソンに参加しているその父親が、娘と孫娘の上へののろいを招いたということです。時間がありませんので、6つぐらいの例をみなさんに分かちあいます。

それは、家族に影響を及ぼし、子孫に影響を及ぼし、配偶者に影響を及ぼし、親戚に影響を及ぼします。ほかの方法でそのようなのろいをまねくものがあります。部族社会では、赤ちゃんや若い人が特定の儀式によって部族に入れられることはよくあることです。そして、皮膚の上に傷をつけたり、粉を皮膚の下に埋め込むことがしばしばあります。それは、その部族の中心である偶像礼拝にある呪いにその人をさらすこととなります。これについても時間の関係で例をお話することができません。

それから、サタンのしもべによって宣言される呪いがあります。そのしもべには、言語によって様々な呼び方があります。英語では、魔術医と呼んでいると思います。アメリカでは、*medicine men* です。スワヒリ語ではウムチャワです。ルオ族という民族は、ジュオウキと呼びます。たしか、マオリ人は、トマンガと呼んでいるのではないのでしょうか。様々な呼び方や見た目ですが、同じものです。率直に言いますが、そのような人々は本当に超自然の力があるので、そのことをどうか過小評価しないでください。もし、あなたが宣教師になろうとするなら、部族の人々にサタンは存在しない、悪

魔は存在しないと言って宣教地に行かないでください。なぜなら、部族の人々は、それが現実に存在することをあなたよりもよく知っているからです。あなたの語るメッセージは、サタンは存在するが、イエスはそれ以上に力があるということです。特にあなたがそれを示すなら、彼らはあなたの話に耳を傾けるでしょう。

一つ、例を挙げた方がよいでしょう。それは、ザンビアでのことです。その証人である男性によって書かれたものを、私たちがもらいました。アフリカの教会で、2人の長老が争いました。みなさんは、奇妙に感じるかもしれませんが、アフリカではかなり普通のことです。片方の長老がもう一人の長老にのろいをかけるために、呪術医のところへ行きました。彼がそうしたとき、呪術医はとても喜びました。彼がクリスチャンだったからです。そして、これがその呪術医がしたことです。呪術医はどこかしのやぶの中に行き、特定の種類の砂を取って戻り、手鏡に塗り付け、その長老に言いました。「さあ、土をふき取り、何が見えるか言ってください。」長老がその鏡を見ると、そこには、自分が呪いたい人の顔が見えました。呪術医は言いました。「ナイフを取って、鏡を通してそれを切りなさい。」長老がそのようにしたとき、血が鏡の上に現れました。そして、長老が戻ってみると、もう一人の長老は死んでいたのです。それをなんと呼べばいいでしょうか。殺人とは言えません。なぜ、聖書が魔術を禁止しているかがお分かりですか。この話は、若いころからずっと宣教師であった70歳ぐらいの人によって全く詳細に語られました。私が言っていることを過小評価しないでください。恐れなければならないという意味ではありません。イエスは言われました。「確かに、わたしは、あなたがたに、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。」それが、現実的なアプローチです。

聖書の中の一つの例を見ましょう。民数記 22:4-6 です。これはバラムの話です。モアブの王は、呪術医であるバラムに使いを送りました。これはとても力強く有名な話です。5-6 節でモアブの王はバラムにこう言いました。

「今ここに、一つの民がエジプトから出て来ている。今や、彼らは地の面をおおって、私のすぐそばにとどまっている。どうかいま来て、私のためにこの民をのろってもらいたい。この民は私より強い。そうしてくれれば、たぶん私は彼らを打って、この地から追い出すことができよう。私は、あなたが祝福する者は祝福され、あなたがのろう者はのろわれることを知っている。」

ある意味、それは戦いにおいて頻繁に行なわれていたことでした。そして、部族社会では、今でも行われています。単に自分の部族が別の部族との戦いだけでなく、自分の部族の神々が相手の部族の神々との戦いでもあります。そして、もし前もって勝利を得ることができるなら、実際の戦いで勝利します。エジプトの王たちが呪いを宣言した77の国を記録した文書が中東のどこかにあります。ですから、もしあなたが敵を呪うことができたなら、あなたは敵を打ち負かすことができるのです。それが原則です。

これは多くの西洋人にはなじみのないことなので、一つだけ興味深い例を挙げましょう。ダビデとゴリアテの対決において、ダビデが石投げを持ち、武具を付けずに出て行ったとき、ゴリアテは怒り、侮辱しました。I サムエル 17:43 を読みましょう。

「ペリシテ人はダビデに言った。『おれは犬なのか。杖を持って向かって来るが。』ペリシテ人は自分の神々によってダビデをのろった。」

お分かりですか。彼らが戦いを交える前に、ゴリアテは自分の偶像に呼びかけ、そしてダビデはこう答えます。

「私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。」

このように、それは神々の戦いです。どちらが勝ったかはご存知でしょう。しかし、私が言いたいことは、サタンのしもべは呪う力を持っているということです。また、私たちが個人的に助けられた人々の例を挙げましょう。

呪いが来ることのできる最終的な方法が申命記 7:25-26 で述べられています。その前の節は、カナンに住民について言っています。

「あなたがたは彼らの神々の彫像を火で焼かなければならない。それにかぶせた銀や金を欲しがってはならない…26 節: 忌みきらうべきものを、あなたの家に持ち込んで、あなたもそれと同じように聖絶のものとなつてはならない。それをあくまで忌むべきものとし、あくまで忌みきらわなければならない。それは聖絶のものだからである。」

ですから、あなたが偶像礼拝やオカルトに関するものを家の中に持ち込むとき、あなたは家の中ののろいへの道を開くことになるのです。また、これは私がよく扱うことです。私は、そのような集会の最後に、人々に、もしあなたが呪いからの解放を必要としているなら、家に帰って、家の中に何があるかを調べた方がいいと言います。イエス・キリストではない、ほかの神を表すものがないかどうか調べてください。私の個人的な原則は、イエス・キリストの名を汚すいかなるものも私の家には置きたくないということです。簡単に一つの例を挙げましょう。両親が、子どもが夜寝ない、落ち着きがない、泣く、おびえている、と私たちに言ってくるケースがよくあります。よくある理由の一つは、サタンにアクセス権を与えているものが家のどこかにあることです。家の隅々を調べて、いかなるオカルトに関するものも処分する必要があります。いかなる迷信的な物もです。イギリスでは、不運を防ぐために馬の蹄鉄を持っていたりしますが、それは迷信です。それは、不運を防ぐのではなく、サタンへの扉を開くのです。

さて、私たちはどのように呪いから解放されるかという、重要なクライマックスにきました。いくつかのシンプルな指示をしたいと思います。私が人々に教える 4 つの言葉からなる基本的なパターンがあります。認識する、悔い改める、放棄する、抵抗する、です。認識するとは、あなたの問題が何であるかを認識することです。なぜ私がこれらのものを取り扱うことに時間を割くかと言うと、あなたが自分の問題を認識するのを助けるためです。2 つ目、悔い改める。あなたが自分にのろいを招くために行なったすべてのことを悔い改めてください。三つ目、放棄する。あなたはそのものに影響されることはないと言明してください。神はイスラエルに、ほかの神々を拝まないようにと告げました。それらを受け入れてはいけなと。そして、私たちはクリスチャンとして同じことをする権利があります。「私はいかなるほかの源も受け入れません。それを拒絶します。それを捨てます。今から、それは私の中に居場所がありません。」そして最後に、抵抗する、です。それは継続的なものです。抵抗し続けてください。その物が再びあなたをコントロールすることに抵抗し続けてください。その 4 つの言葉をもう一度言いましょ。認識する、悔い改める、放棄する、抵抗する。ヤコブ 4:7 はこう言っています。

「ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去り

ます。」

悪魔はどうしますか。あなたがその条件を満たすときに、そう、逃げ去ります。いいですか。しかし、抵抗は継続するプロセスです。それは、強い風が吹いていて、あなたはドアを閉め続けなければならないようなものです。もし、ドアを開けたなら、風が吹き込んできます。

そして、あなたの解放のために明確な聖書的土台を建て上げることです。一番いいのは、ガラテヤ 3:13-14 です。

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって…このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

あといくつか聖句を挙げましょう。エペソ 1:7.

「この方にあって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。」

コロサイ 1:12-14

「また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をささげることができますように。神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。」

ですから、十字架のイエスのみわざを通して、私たちは暗闇の圧制から解放されることができるのです。それはサタンの圧制からイエス・キリストの御国の中へ移されるのです。2つの領域があって、その2つには深い谷間があるようなものです。それは、サタンの領域と、神の国の領域です。しかし、その谷間にはたった一つだけは死があり、それはイエスの十字架です。もし、あなたがその橋を渡るなら、サタンの王国を出て御国へとたどり着くのです。そこが、神があなたにいてほしい場所です。

Iヨハネ 3:8の後半部分です。

「神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。」

何をするためにですか。悪魔のしわざを打ち壊すためです。そのためにイエスは来られたのです。

そして、先ほど引用しましたが、ルカ 10:19 です。

「確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。」

これらは、非常に明確な聖書的土台です。

そして、あなたがその土台を建て上げたとき、キリストにあるあなたの信仰を告白してください。なぜなら、イエスは、私たちの告白の大祭司だからです。あなたがイエスについて言うその告白に基づいて、イエスがあなたの大祭司の役割をするのです。

3つ目に、あなた自身を従順にならせてください。私たちが祝福の資格をどのようにして得るか、ということ覚えていませんか。何をしなければなりませんか。神の声を聞いて、神の言われることを行なうことです。ですから、あなたが解放を受け取ったとき、これからは神が言われることを聞いて行ないますと、あなた自身をささげる決心をしてください。

次のステップは、わかっているすべての罪を告白することです。あなた自身であれ、あなたの先祖であれ、です。なぜなら、あなたの先祖の罪は、何らかの方法であなたに影響を与えうるからです。しかし、異なるものがあります。あなたは、あなたの先祖の罪に対する責任はありませんが、それらの罪による影響はあります。お分かりですか。あなたは自分自身の罪に対しては責任があります。しかし、まったく明確にするために、もしあなたの先祖が偶像礼拝者や、キリスト教サイエンティスト、あるいはモルモン教などでまったく非聖書的な者であったことをあなたが知っているなら、それから解放されてください。

それから、あなたはすべての人を赦すことが必要です。イエスは、あなたが立って祈っているとき、だれかに対して恨み事があつたら、どうするようにと言われましたか。そう、赦してやりなさいです。誰かに対してどんなことでもです。何一つ、誰一人残らず、です。赦さない心は、あなたの祈りを妨げる壁となります。さて、赦しは感情ではなく、決断です。それは借用書を破棄するようなものだとは私は人々に言います。一人の女性についてお話ししましょう。私が赦しについて話し、いったいどれくらいの妻が夫に不当な扱いを受けて、決して赦してもらえなかったために、今も苦しんでいるかを説明していました。そして、私はこのように言いました。あなたの手には、夫の借用書の束があるのだと。夫はあなたに、愛の借り、援助の借り、名誉の借り、管理の借りなどなどがあります、というものです。それらは全く有効で合法的です。しかし天の上では、神は、神の手の中に神に対するあなたのさらに大きな借用書を持っておられます。神は、取引をしようと言われます。あなたはあなたの借用書を破棄し、私も私の借用書を破棄しよう。しかし、もしあなたがあなたの借用書を破棄しないなら、私も私の借用書を破棄しない。あなたが赦してもらいたいなら、あなたは赦さなければなりません。ほかの選択肢はありません。さて、私はその一つのメッセージを終えました。30歳ぐらいの洗練された、頭のよさそうな女性が通路をまざりに行進して講壇までやってきました。私は、彼女は何をしようとしているのだろうか、私に攻撃してくるのではないかと思いました。彼女は私を真正面から見て、「プリンス先生、私はあなたが話している間に、3万ドルに相当する借用書を破棄したことをあなたにお伝えしたいのです。」そう言って、振り向いて帰って行きました。つまり、私が彼女に個人的に何も言わずして、彼女はメッセージを受け取ったのです。すべての人がそのように素早く理解してもらえたらと願います。あなたは、ほかの人々を赦さなければなりません。

それから、あなたはオカルトとのあらゆるつながりを破棄しなければなりません。いいですか。あなた自身、またあなたの先祖たちによるものも。そして、あなたはそれに対する責任はなく、あなたの先祖がしたことに対する責任はありませんが、あなたに影響を及ぼします。

それから、あなたは私が話した、すべての「つながりとなる対象物」を処分しなければなりません。もしあなたが家の中にそれらを持ち込むなら、あなたはそれらと一緒にのろいを持ち込むのです。

そして、あなたがそれらの条件を満たすとき、あなたはイエスの御名によってあなた自身を解放することができます。イエスは、何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは

天においても解かれています、と言われました。私たちは今からそれを行ないませんが、あなたが解放されたときに、そこからどこへ行くのかを示したいと思います。

それから、あなたはアブラハムの祝福を告白し、期待しなければなりません。なぜなら、私たちは、呪いから解放され、アブラハムの祝福を受けることになるからです。そして妻と私がパターンのようによく使っている告白の一つをしたいと思います。

「十字架のイエスの犠牲を通して、私たちはのろいの下を抜け出て、神がすべてのことにおいて祝福したアブラハムの祝福の中に入ります。」

いくつかのことですか。すべてのことにおいて、です。あなたは祝福がほしいですか。神はあなたのために備えておられます。それが聖霊の祝福であることを覚えておいてください。言い換えれば、祝福を管理しているのは聖霊です。それは重要です。あなたは聖霊と友達になったのです。もしあなたが聖霊を悲しませるなら、また、もしあなたが聖霊をうやまわないならば、聖霊は祝福を与えません。聖霊は神の倉庫のカギを持っています。もしあなたが宝を望むなら、その倉庫の管理人と友達になってください。

それから、すでに言いましたが、それはすべてのことにおいてです。あなたは、それを一晩で得ることはできませんが、一晩でそのための資格を得ることはできます。お分かりですか。もし、私がそのように表現すると、間違ったとらえ方をする人がいます。きょう、あなたはユーターンして、正しい方向に進み始めます、しかし、それは到着したということではありません。あなたはその途上にいます。もし、あなたが継続してアブラハムの祝福にあずかりたいなら、あなたはその方向を保ち、神が言われることを聞いて行なわなければなりません。そして、あなたは正しい告白をし続けなければなりません。

その前にまず、待ちたいと思います。今日、この中で、何らかの形で自分の人生にのろいの影があつて、解放されたいと感じている方がいらっしゃるなら、解放の祈りを導きたいと思います。私が話した、祈りを読んで完全に癒されたミアムの話覚えていますか。私はあなたに癒しを約束しているわけではありません。それは神の手の中にあります。しかし、もしあなたの病気が直接呪いによるものであり、あなたがその呪いから解放されるなら、あなたは、その病気の癒しの資格を得るのです。ですから、導いてほしいと願う方は、立ち上がってください。私が祈りを導きます。あなたの人生、あなたの家族、あなたの家に何らかののろいの影を感じている方です。あなたがこれを言うことによって失うものはないと言わせてください。つまり、あなたはそれほどのものは持っていないということです。それは正しいでしょうか。たぶん正しいでしょう。

では、ざっと、あなたが通るステップを説明しましょう。初めに、私たちは明確な聖書的土台を建て上げました。みことばをいくつか挙げました。いま、あなたはキリストにあるあなたの信仰を告白し、従順に対してあなた自身をささげ、あなたやあなたの先祖の罪を告白する必要があります。それをする時間を少し取りますので、静かにその罪を告白します。それから、すべての人々を赦しますが、そのためにも少し時間を取ります。そして、あなたやあなたの先祖によるオカルトとのあらゆるつながりを破棄します。すべての「つながりの対象物」を処分することに専念してください。それから、イエスの御名によってあなた自身を解放します。いいですか。

では、私が言葉を与えますが、あなたは私に祈るのではなく、主イエス・キリストに祈るのです。そして、イエスはその答えである方です。私ではありません。私にはその力はありません。イエスにあるのです。では、私のあとについて言ってください。

「主イエス・キリストさま、私はあなたが神の子で、神の一人子であることを信じ、あなたが十字架の上で私の罪のために死に、死からよみがえったことを信じます。私が呪いからあがなわれ、祝福の中へ入るために、その十字架であなたは私のために、すべての呪いとともにも呪いとなりました。主よ、私は私、あるいは私の先祖によってなされたすべての罪を告白します。

(5 秒ぐらい時間を空けて)

あなたの赦しを求めます。また、私は私を傷つけた人、不当なことをした人をすべて赦します。神が私を赦してくださいるように、私はその人たちを赦します。また、私は自分自身を赦します。

(5 秒ぐらい時間を空けて)

私はいかなる形においても、あらゆるオカルトとのつながりを破棄し、いかなる「つながりの対象物」も処分することを誓います。そして、今主よ、あなたの赦しを神の子としての権威をもって、信仰によって受け取り、今、自分自身と、私の権威の下にある家族を、私の家族の人生のすべての呪いから解放します。今、イエスの御名によって、私は解放を宣言します。私はそれを断言し、信仰によって解放を受け取ります。イエスの御名によって。

では、主に感謝しましょう。それは何にも勝る信仰の表現です。感謝します、主よ。感謝します。感謝します。

では、私たちの良い告白をしましょう。あなたがこれを言う完全な資格があると信じます。何を言うかお分かりですか。準備はいいですか。

「十字架のイエスの犠牲を通して、私たちはのろいの下を抜け出て、神がすべてのことにおいて祝福したアブラハムの祝福の中に入ります。」

もし、このメッセージを他の人と一緒にきいていらっしゃるなら、近くの人にそのことを言ってください。2人なら、向き合って、3人であれば、一人が2人に言うことになります。いいですか。誰かを見つけてください。

「十字架のイエスの犠牲を通して、私たちはのろいの下を抜け出て、神がすべてのことにおいて祝福したアブラハムの祝福の中に入ります。」

では少しの時間、主に感謝をささげましょう。それは信仰の最も単純な表現です。主イエスさま、感謝します。忘れないでください。あなたはユーターンしました。今から、新しい方向に進み続けてください。神の祝福がありますように。アーメン。